



み や ぎ  
- 64号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院  
発行責任者 広報委員長 安藤 肇史  
〒989-2202

宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地  
TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316  
ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

## 令和元年度「山元町及び亶理町並びに宮城病院との相互協力協定に基づく意見交換会」開催

— 両町と宮城病院との強い結びつきを実感し、更なる地域医療への貢献へ —



令和元年5月14日、宮城病院にて「山元町及び亶理町並びに宮城病院との相互協力協定に基づく意見交換会」が開催されました。この会議は、平成27年に両町と宮城病院で締結された相互協力協定に基づき平成28年度から毎年開催されているもので、今年度で4回目の開催となります。会議には、齋藤俊夫山元町長、山田周伸亶理町長、永野功宮城病院長をはじめとしてそれぞれの関係者が一同に会して、平成30年度連携事業及び令和元年度事業計画について意見交換が行われ、地域医療の推進、地域包括ケアの推進、健康づくりの推進、その他相互の連携・協力について意義深い話し合いが持たれました。山元町からは、貴重な国立病院機構の病院として地域医療の提供にも尽力して頂いていることへの感謝が述べられ、亶理町からは地域に小児科医が非常に少ない中、宮城病院での小児科医師を引き続き確保していただきたいこと、亶理町においても宮城病院地域公開講座を開催してほしいとの要望がありました。永野院長からは、5月から訪問看護ステーションを開始したことや当院の地域包括ケア病棟の紹介、10月に創立80周年記念式典を行うことなどが話されました。今年で4回目となる意見交換会では、両町との事業内容も多岐にわたり充実が図られてきましたが、少子高齢化がますます進む中で、安心して地域医療を受けられるよう、地域の医療がさらに充実することを三者で確認しながら、両町と宮城病院との強い結びつきを実感した会議でした。

(事務部長 宗像 広)



### 基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

### 行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



## 病院と地域をつなぐ訪問看護ステーション「かけはし」

宮城病院では「地域医療における宮城病院の在宅医療を拡充させる」ことを目的とし、訪問看護ステーションを開設いたしました。昨年12月に医療保険のサービスから開始し、5月には介護保険のサービスを行うこととしました。事業の開始にあたり地域の医療関係機関の皆様にはご理解とあたたかいご支援・ご指導をいただき大変感謝いたします。当院は平成27年に亘理、山元の2町と相互協力協定を結び、乳幼児健診事業、各種検診、認知症初期集中支援チームの活動など地域医療に積極的に取り組んできており、訪問看護サービスの提供は地域包括ケアの推進に寄与するものとして前向きに進めてまいりました。宮城病院を取り巻く地域においては高齢化の進行は加速し在宅ケアの対象者は増加していると考えます。訪問を開始してみると医療的ケアの他一人暮らしや高齢者世帯、老老介護、認知症介護など複雑化した問題を有する利用者が少なくありません。まだまだ駆け出しで運営のノウハウやケアの技術も未熟ですが、訪問看護師は病院から外にむけて看護の役割を柔軟に広げ、生活者としての視点で利用者さんに心を寄せて訪問してくれています。高齢者や療養される方が病気や障害があっても住み慣れた地域や自宅で自分らしく生活していく支援ができるよう院内外の皆様と連携を図りながら体制整備を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。（看護部長 中野 良子）

## 更なる医療の質の改善へ・・・病院機能評価の更新審査を受審

当院は5年前に公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」を初めて受審し、その後5年が経過したことから、6月20日、21日の両日に更新審査を受けました。

受審にあたり、約半年前から全職員で評価項目に合致しているか確認し合うとともに、模擬審査も数回行いながら審査当日を迎えました。評価機構からは6名のサーベイヤーの方が訪問され、院長の病院概要説明の後、書類による審査、第1、第4領域の聞き取り調査、4つの病棟についてのケアプロセス調査、職場訪問などが2日間行われ、朝早くから夕方まで宮城病院の質改善に繋げる立場から調査、審査が行われました。

最終日には6名のサーベイヤーと院長はじめ全部署の責任者が一同の場で講評が行われ、「全体的に少ない人員でよく頑張られている。」という講評でしたが、評価項目の中では更なる改善の必要性について具体的に提示されました。講評を受けて院長から、「ご指摘いただいた内容の7割ほどは日頃から出来ていない、改善が必要と感じていたところです。第三者の立場から改めてご指摘をいただき宮城病院の医療の質の更なる改善につなげていきたい。」と病院機能評価を受審しての決意表明がありました。

（管理課長 大坂 雄二）



第1、第4領域の聞き取り調査



ケアプロセス調査



部署訪問

## 看護の地域交流イベント



令和元年5月11日、看護週間にあわせ地域交流イベントを山元町ひだまりホールで開催しました。当日は天候にも恵まれ、40名以上の方に来場していただきました。

イベント内容としては、血管年齢測定、血圧測定、唾液アミラーゼ値によるストレスチェック、肌水分量チェック、スキンケア、ポップコーンの提供を行いました。

血管年齢測定は初めての方が多く、測定結果の関心が高く、生活習慣病の健康相談を行いました。ストレスチェックでは日頃のストレスに気づく機会となったようです。

スキンチェックでは肌の水分・油分のバランスを測定し「参考となった」という言葉が聞かれました。地域の方たちとのふれあい、健康に関心を持っていただく、よい機会となりました。

(副看護師長 門脇 正子)



## ふれあい看護体験

令和元年5月15日(水)『看護の心をみんなの心に』をテーマとし、ふれあい看護体験を開催いたしました。

今回は仙台三桜高校・名取高校・相馬東高校から8名の学生の参加がありました。

白衣に袖を通し、普段と違う姿に最初は緊張した面持ちでしたが、次第に笑顔が見られました。体験学習で”車椅子介助体験”、”高齢者疑似体験”、”病院食の試食”を行いました。病棟では、患者さんとのコミュニケーション、散歩を行いました。看護体験から「患者さんと話すのは緊張したけど貴重な体験ができた。」「実際に患者さんと関わり笑顔がたくさんあふれていた。」「患者さんと接し、自分の将来がみえた気がした。」という言葉が聞かれました。患者さんからは「優しく接してもらい嬉しかった。元気をもらった。」と笑顔と温かい言葉を頂きました。限られた時間でしたが、学生の思いが患者さんに伝わり、心温まる経験に繋がったと考えています。ふれあい看護体験を通して、より一層看護に興味・関心を持っていただけることを願います。ご協力いただいた患者さんに深く感謝いたします。

(副看護師長 森 美保)



集合写真



車椅子体験



手洗い体験

## 山元町食生活改善推進協議会研修会



平成31年4月23日の山元町食生活改善推進協議会研修会において、だしのうま味を活用した減塩の取り組み『ヘルしお』についての講話を行いました。

高血圧予防には普段の食習慣の見直しが大変重要で、だしのうま味を活用することで食事を楽しみながら無理なく減塩することができるというお話をさせていただきました。

食生活改善推進委員の皆様からは活発な質問や意見をいただき、食事を通して地域の健康を支えていくという思いを感じました。今後も、地域の予防医療に貢献できるよう、『ヘルしお』の改良やメニューの考案を続けていきたいと思っております。

(栄養士 大槻 博人)



## 山下中学校職場体験



令和元年5月8日(水)～10日(金)の3日間、山下中学校の学生が3名職場体験に来ました。今年は看護師、薬剤師、栄養士などが行っている業務について説明を聞き、実際に体験もしていただきました。最初は緊張している様子でしたが、すぐに慣れてきて患者さんとの会話も笑顔で対応しておりました。「将来は医療系の職場で働きたい」という感想をいただきました。

当院で一緒に働ける日をお待ちしております！！

(庶務班長 舞原 範夫)



# 山元支援学校「花いっぱい運動」

令和元年5月31日（金）、今年も山元支援学校の生徒さんによる「花いっぱい運動」が行われました。当日は晴天のなか、生徒さん約60名をはじめ、学校の先生方、当院職員など総勢100名以上が参加して、当院中央病棟南側の花壇をみんなで力を合わせ、鮮やかなマリーゴールドなど元気に植栽を行いました。

毎年恒例行事となってきましたが、生徒の皆さんも慣れている様子でみんな楽しそうに植栽を行っていたのが印象的でした。当院の入院患者さんにも綺麗なお花を見て喜んでいただけることと思います。今後も山元支

援学校と宮城病院が連携協力を行い、学校生活を充実させる活動の一環として対応したいと考えております。

（管理課長 大坂 雄二）



## 新規採用者リフレッシュ研修

5月29日（水）、宮城病院恒例『新人職員リフレッシュ研修』をグリーンピア岩沼で実施しました。新社会人として2か月が経ち、覚えることが多くなり各部署で忙しい毎日を過ごしている皆さんです。グリーンピア岩沼の自然の中で、午前にはスポーツで汗を流し交流を深め、午後には、陶芸を行い真剣な眼差しで取り組んでいる姿が見られました。個性あふれる作品が多く、完成が楽しみです。その後、3グループに分かれて「宮城病院をこうしたい！」というテーマでグループワーク、その後発表を行いました。各々が職種の役割を考え、宮城病院を様々な視点から支え、発展していく力になってくれる可能性があふれる発表になったと思います。今年度はコメディカル職員も多く、各職場から新しい風が吹き、宮城病院の発展に繋がればと思います。

（企画課 三浦 彩花）



（企画課 三浦 彩花）

## 地域医療連携室・医療相談室だより

皆さん、こんにちは！ 看護師長・地域医療連携係長の高橋美鈴です。

今回から、広報みやぎに地域医療連携室・医療相談室の掲載コーナーを設けることになりました。このコーナーでは地域医療連携・医療相談についてどのような事を行っているのか、広く皆さんに知っていただくことで、気軽に相談できるよう、そして一つでも心配事や不安が軽くなるようお手伝いさせていただきますと考えています。

次号から「な～るほどな豆知識」として、医療相談の多い内容を取り上げ掲載していきますので、ぜひ、このコーナーへお立ち寄りください。

（地域医療連携係長 高橋 美鈴）

### 【地域医療連携】

- ★他病院から当院への紹介の窓口
- ★通院中、入院中の方の他病院受診の予約や連絡調整
- ★地域の皆さんへの健康・医療に関する情報発信など

### 【医療相談】

- ★入院費用など医療費のこと
- ★介護保険や障がい者手帳について
- ★パーキンソン病など難病に関する制度の利用について
- ★介護など在宅の生活で困っていることなど

当院が今年で創立80周年を迎えることから、その記念事業の一つとして宮城病院「マスコットキャラクター」を職員から広く公募したところ、医師や看護師など多職種から25点もの応募がありました。今回の公募の趣旨は、大震災を機に病院を取り巻く環境は大きく変化し、山元町や亘理町との相互協力協定の締結や、機構の中期計画においても「地域から求められる医療」の提供が求められ、地域との関わりがより重要となっており、そのため、創立80周年を機に宮城病院と地域との関わりをマスコットキャラクターで表見したいと考えて企画したものでしたが、宮城病院の特徴をよく表し、地域から親しまれるキャラクターが多数応募されましたので全職員による選抜総選挙を院内で実施中です。選抜の結果は次号で発表します。全応募作品は下記のとおりです。



# 山元町役場新庁舎が完成・記念式典が行われる



山元町役場は、東日本大震災以降仮設庁舎でしたが、この度役場庁舎が新築復旧し令和元年5月7日から業務が開始しました。5月10日に新庁舎の開庁を記念して新庁舎開庁セレモニーと新庁舎開庁式が執り行われました。当日は令和元年にふさわしくすがすがしい晴天のもと式典が行われ、当院の永野院長も来賓として招待され参加しお祝いを述べてきました。（事務部長 宗像 広）



山元町役場新庁舎で行われた「新庁舎セレモニー」  
永野宮城病院長もテープカットに参加



つばめの杜ひだまりホールで行われた「新庁舎開庁式」  
式辞を述べられる齋藤山元町長

開 運

## なんでも鑑定団（お宝紹介コーナー）



（当院にある土器）

宮城病院は、今年で創立80周年の記念の年にあたります。80周年を記念して、宮城病院のお宝をご紹介します。初回にご紹介するのは、今から1300年以上前に当院の西北の地にあった釜跡から出土した土器（皿と壺）です。昭和38年に出土したもののようです。当院の所在地である「山元町高瀬宇合戦原」は、合戦原遺跡が発見されたところで、山元町役場に隣接する山元町歴史民族資料館にも同じような土器が多数展示されています。温暖で過ごしやすい宮城病院があるこの山元町の地に縄文の時代から人の営みがあったと思うと歴史のロマンを感じます。次回のお宝鑑定にご期待ください。

（事務部長 宗像 広）

## 創立80周年記念式典のお知らせ

当院は、昭和14年2月に傷痍軍人宮城療養所として創設され昭和20年12月に厚生省に移管、国立宮城病院療養所として発足し、平成16年からは現在の独立行政法人国立病院機構宮城病院としてお蔭様で今年で創立80周年を迎えます。

山元町のこの地で長年医療を継続し、今後も地域医療に貢献してまいります。80周年を記念し下記の記念行事を開催いたします。

独立行政法人国立病院機構宮城病院創立80周年記念式典

令和元年10月19日（土）13時00分～

つばめの杜ひだまりホール（亶理郡山元町つばめの杜1丁目8）

記念講演・記念祝賀会・記念コンサートも予定しております



山元町出身演歌歌手  
こおり健太コンサート

診療科		曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患		久永 欣哉	中屋亮彦 / 松本有史	久永 欣哉	松本有史/金子仁彦	中屋亮彦/金子仁彦
	再来		永野 功	久永 欣哉	金子 仁彦	久永 欣哉	久永 欣哉
内科			清野 仁	清野 仁	伊藤 博明	清野 仁	清野 仁
			志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
				齊藤 秀行	齊藤 秀行		東北大学病院から
循環器内科	午前			東北大学病院から			
	午後		東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科					相澤 洋之		
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)		
アレルギー科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
			東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)	
形成外科	午後					澤村 武 玉懸 美菜実 (隔週交替 13:30~15:30)	
皮膚科						東北大学病院から	
脳神経外科			永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			(仁村 太郎)				永松 謙一
歯科			中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	糖尿病外来					東北大学病院から	
	禁煙外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	漢方外来		志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
入れ歯外来					伊藤 秀美	伊藤 秀美	

## 受診される方へ

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。  
ただし、**急患の方は随時受付いたします。**  
**お問い合わせ先 0223-37-1131**
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2,700円を負担**していただくことになりますので予めご了承願います。

## 交通のご案内

### ●自動車でおいでの方●

#### ■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。  
高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

#### ■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

### ●交通機関をご利用の方●

#### ■仙台方面から

JR常磐線巨理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

